



女性部研修交流会

部員同士の親睦を深める

女性部は7月4日、ホテルペラヴィータで研修交流会を開き、部員やJ A役職員、関係者ら合わせて161人が参加しました。「他支部の部員ともっと交流したい」という部員たちの声により昨年初めて開催し、今年は2回目。

研修会では、東洋羽毛北関東販売株式会社の星野知さんを講師に招き、睡眠セミナーを行いました。交流会は昨年同様、複数の支部が合同になるよう座席を割り振り、親睦を深めました。また各支部で景品を持ち寄った抽選会も行い、大変盛り上がりしました。

同部の星野ふじ子部長は「今年も多くの方に参加していただき、大変盛り上がった。今回の交流を機に、女性部活動を益々盛り上げていきたい」と話しました。



セミナーに耳を傾ける参加者たち

第56回 J Aグループ群馬杯

熱戦の幕閉じる

J A利根沼田が協賛する少年野球大会「第56回 J Aグループ群馬杯利根沼田支部予選会」の決勝戦が6月29日、オリエントスタジアムぬまたで開かれ、沼田リトルフェニックス合同が優勝しました。表彰式では優勝カップが手渡された他、副賞として利根沼田産コシヒカリが贈られました。

■大会結果は以下の通り

- 優 勝 沼田リトルフェニックス合同
- 準優勝 みなかみドルフィンズ・月夜野イーグルス合同
- 3 位 利根沼田イーストジュニア
沼田ジュニアブレイブス



優勝した沼田リトルフェニックス合同

白沢・片品トマトセンター

出荷に向けトマトの規格確認

利根沼田農協トマト部会は6月30日と7月2日、今年度の出荷に向け目そろえ会を開き管内生産者や関係者合わせて約80人が参加しました。出荷規格や注意事項の確認、利根沼田農業事務所による高温・病害虫対策も行われ、生産者は最盛期に向けて備えました。

白沢トマトセンターからは「夏美人」、片品トマトセンターからは「尾瀬トマト」のブランドで流通。夏でも涼しく、日照時間が長い利根沼田産のトマトは、甘みと酸味のバランスが良く、ジューシーな味わいが特徴です。



規格を確認する生産者

今年度、白沢トマトセンターは7月3日、片品トマトセンターは7月2日から稼働しており、両センター合わせて約160万箱、25億円の販売金額を目指します。